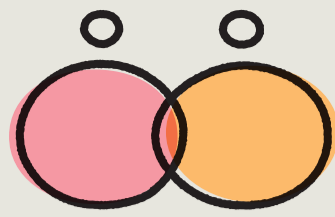


1

キックオフ
紙面今できること
プロジェクト

2019年度

たゆまぬ歩みに希望を懸けて。

★10月6日(日)より参加者を募集します。
詳しくは当日の朝刊をご覧ください。

自然環境整備ボランティア

苗木を植えて、未来へ継承する憩いの森に。

東日本大震災による津波で流失した亘理町沿岸部の防潮林。NPO法人わたりグリーンベルトプロジェクトでは、塩害に強いクロマツなどを植樹し、農地や人々の暮らしを守る「おらほの森」づくりに取り組んでいます。このボランティアツアーでは、現地スタッフとともに植樹作業をお手伝い。また、同プロジェクトが、町の新たな特産品となるよう栽培を進めている「落花生」の畑を見学することもできます。

【開催スケジュール】2019年11月2日(土)開催

2

★10月中旬より参加者を募集します。



地域のコミュニティ活性化支援

賑わいを生む港町の中心で集いの喜びを。

女川駅から海に向かうレンガ道のプロムナードに沿って店舗が集まる「シーバルビア女川」が誕生。その反面、居住エリアが町の中心地から離れてしまい、公営施設の利用が難しくなっている問題が憂慮されています。そんな町民の方々に招待し、昔懐かしの映画を鑑賞する上映会を開催します。さらに、町外の参加者も募り、プロムナードを舞台にした楽しいチャレンジ企画も行う予定です。

【開催スケジュール】2019年11月16日(土)開催

3



牡鹿地区の観光支援

たくさんの人であふれる、半島の未来を思い描いて。

震災による甚大な津波被害にみまわれた石巻市鮎川地区に今年10月、7店舗が軒を連ねる観光物産交流施設ができるほか、震災で全壊した「おしかホエールランド」も再建中です(20年春に完成予定)。新たなにぎわいの創出に期待が高まる同地区を訪ね、話題の各施設を見学。牡鹿半島に息づく豊かな自然を生かしながら、これからどんな観光の魅力を発信していくのか、未来図を描きます。

【開催スケジュール】2020年3月中旬開催予定

4



こども未来応援教室

子どもたちが楽しんで学べるシゴト体験プログラム。

地域の将来を担う子どもたちに、教育支援として面白い学習プログラムを提供する「こども未来応援教室」。今回は、尚綱学院大学を会場に、賛同企業による「社会科学習」、子どもたちの関心が高い仕事をプロの方が紹介する「シゴトワークショップ」など、将来への夢がますますふくらむ多彩なプログラムを用意します。

【開催スケジュール】2020年3月1日(日)開催

「今できることプロジェクト」とは

東日本大震災から8年の年月が過ぎ、多くの人々にとって遠い記憶となりつつある今、真の復興を果たすためにどんな支援が求められているか、見つめ直す必要があると考えます。そして、被災地の現状を知ること、継承すべき教訓を再確認することも大切です。そんな機会を創出し、具体的なアクションを起こすことを目的とした「今できることプロジェクト」が今年も始動します。歩みを止めず、さらにその先を目指して。ともに希望ある郷土の未来を思い描いてみませんか。

私たちが、復興のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/岩手日日新聞社/エイチ・アイ・エス/NTTデータ東北/キリンビール 仙台支店/ケースデンキグループ デンコードー/劇団四季/光輝ビルテクノス/神戸製鋼所 サッポロビール 東北本部/サンセイランディック 仙台支店/サントリー酒類 東北支社/JT 東北支社/JTB 仙台支店/住友不動産 東北支店/生命保険協会 宮城県協会/ソフトバンク/大和証券 仙台支店
DICグラフィックス/伝承千年の宿 佐勤/東伸環境/日本製紙/日本製紙クレシア/東日本油化学工業/日立システムズ/平松剛法律事務所/富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ
三井不動産 東北支店/三菱地所グループ/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/宮城県法人会連合会/みやぎ生活協同組合/明治安田生命 仙台支社/リコージャパン 宮城支社/河北新報社(順不同)

◎後援/宮城県、仙台市、石巻市、名取市、亘理町、女川町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、名取市教育委員会 [お問い合わせ]今できることプロジェクト事務局(河北新報社営業部) tel 022-211-1318

皆さんの支援情報や参加しているプロジェクト、感じていることを「今できることプロジェクト」特設HPにお寄せください。

> www.kahoku.co.jp/imadeki/

河北 今できること

検索

facebookページもあります。